しまねの土地改良だより

平成24年3月1日発行　　水土里ネット島根

■ 第５４回通常総会開催
～提出議案原案通り議決される～

本会の第５４回通常総会を２月１３日、県土連会議室において、溝口島根県知事始め、国、県関係者多数の来賓をお迎えし、会員１００名余が出席して開催しました。

総会は、宇津会長挨拶の後、土地改良功労者２９名の表彰が行われ、続いて今井中国四国農政局次長、溝口島根県知事、洲浜県議会議長からご祝辞をいただき、ご臨席の来賓紹介を行いました。

この後、速水雲南市長が議長に選出され、２２年度事業報告並びに収支決算、平成２３年度収支補正予算、平成２４年度事業計画並びに収支予算等、提出議案はいずれも原案通り議決されました。

又、理事１名及び監事１名の補欠選任が諮られ、理事には、安来市土地改良区石倉刻夷理事長、監事には斐川町土地改良区勝部勝明理事長が選任されました。

決　議

農業・農村は、食料の安定的な供給のほか、国土や自然環境の保全、水源の涵養、良好な農村景観など多面的機能の発揮を通じて、国民生活を支える基盤としての重要な役割を担ってきており、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

一方、農業農村を取り巻く環境は、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、農業農村整備予算が大幅に削減されたことにより、農業生産基盤整備の遅れ、土地改良施設の劣化・老朽化が進行するなど、大きな課題が山積している。

また、政府は環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉の参加に向けて関係国との協議に入ることとされたが、日本の農業と地域社会を壊滅させることがないよう慎重な対応が求められている。

これらの状況の中で、今後とも本県の農業・農村が豊かな個性を持ち、持続的に発展し、次世代へ確実に継承していけるよう、左記事項の実現を強く要請する。

記

一、農業農村整備事業予算については、地域の自主性を尊重した一括交付金を含め、地域農業の継続に必要な条件整備である農業農村整備事業に重点的に配分

一、ＴＰＰ交渉により、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村に、悪影響を及ぼすようなことは断固行わないこと

一、農地・農業用水等の適切な整備の確実な推進

一、農地・水保全管理支払交付金の所要額の確保

一、中山間地域の活性化に資する総合的な整備の着実な推進

一、災害に強い農業農村づくりに向けた防災・減災対策の着実な推進

一、老朽化が進む農業用水利施設等の計画的な更新と適切な保全対策の充実強化

右決議する。

平成二十四年二月十三日

島根県土地改良事業団体連合会　第五十四回通常総会

決議文朗読
斐伊川以北土地改良区
多久和理事長

・第５４回通常総会開催 …… 1
・平成２３年度土地改良功労表彰受賞者名簿 …… 2
・平成２３年度　土地改良区役職員等研修を開催しました …… 3
・平成２３年度換地計画実務研修会・換地委員等実務研修会開催 …… 3
・第１５回「しまねの農村景観フォトコンテスト」審査実施 …… 4
・「持続可能な水・土・里シンポジウム in 雲南」を開催します …… 4
・土地改良区会計諸帳簿の配布について …… 4
・今後の主な予定 …… 4

平成２３年度土地改良功労受賞者の皆様

～　おめでとうございます　～

役員の部　２６名

奥出雲町土地改良区	理事	勝部　定次
前雲南市加茂町土地改良区	理事	青木　征温
前雲南市加茂町土地改良区	理事	飯塚　稔
前雲南市吉田町土地改良区	理事長	堀江　眞
前雲南市吉田町土地改良区	理事	柳樂　勇
前雲南市吉田町土地改良区	理事	景山　逸雄
前雲南市掛合町土地改良区	理事	藤原　安年
前雲南市掛合町土地改良区	監事	落合　慧
前雲南市掛合町土地改良区	監事	坪倉　千尋
前雲南市掛合町土地改良区	理事	加藤　一成
前雲南市掛合町土地改良区	理事	板垣　洋司
出雲市土地改良区	副理事長	木次　誠
出雲市伊野土地改良区	理事	奥村　豊
平田斐伊川以北土地改良区	理事	原　重義
平田斐伊川以北土地改良区	前総括監事	奥原　晴美
大社町土地改良区	前理事	足立　政夫
大社町土地改良区	前理事	山根　偉助
大田市祖式町祖式土地改良区	理事	山田　馨
邇摩郡温泉津町土地改良区	理事長	川村　昇
邇摩郡温泉津町土地改良区	監事	瀧尻　美之
邑智郡石見土地改良区	理事	大石　良典
邑智郡石見土地改良区	理事	寺本　梟
江津市土地改良区	理事	小川　務
江津市土地改良区	総括監事	青木　良文
江津市土地改良区	理事	深野　政勝
都万下田土地改良区	理事	斉藤　茂

職員の部　２名

邑智郡邑智町	支所長	福田　誠治
邑智郡邑智町	課長	三上　洋司

本会職員永年勤続表彰者

島根県土地改良事業団体連合会	主事	山田　マキ

■ 平成２３年度　土地改良区役職員等研修を開催しました

２月２日（木）、本館１階会議室にて平成２３年度土地改良区役職員等研修会を、県・市町村職員、土地改良区役職員７８名参加により開催しました。

本会では、毎年農業農村を取り巻く情勢や土地改良区の円滑な運営に関して、その時々のテーマで研修会を開催していますが、今回は、昨年４月土地改良区会計基準が制定されたのを受けて、土地改良区の複式簿記導入にかかる「土地改良区会計基準」、複式簿記導入経緯、簿記会計システムと土地改良区の運営及び平成 24 年度農業農村整備事業関係予算について各講師より説明いただきました。

特に複式簿記は、現行の単式簿記方式と比べ

① 土地改良区の財産（資産、負債）増減状況を日常的に把握できる

② 事業ごと（維持管理事業、補助事業、受託事業ほか）の的確なコストの把握が可能

③ 修繕費や更新事業費を事前積立する根拠（的確な予防保全対策や適期の更新事業の実施）の説明が容易

④ 資金管理と資産管理が一体的に行われ、記帳ミスや不正の発見が容易である

など会務運営上のメリットがあります。

今後農村社会が様々に変化していく中で、組合員への説明責任や、一般の方々に土地改良区の役割を理解して頂くためにも、複式簿記導入について是非ご検討ください。

なお、複式簿記について、より詳細な説明を希望される方は本会まで連絡ください。

■ 平成２３年度換地計画実務研修会・換地委員等実務研修会開催

２月２０日から２１日の２日間に亘り、県・市町村の職員、土地改良区役職員、換地技術者等及び換地委員等５６名の参加により、換地事務に関する研修会を本会会議室にて開催しました。

権利関係が複雑になる中で換地業務をスムーズに進めるために今回の研修内容は、土地改良法の概要、換地理論、基礎調査・換地設計基準といった換地事務の基礎的な知識の習得、農地法・農業経営基盤強化促進法などの換地に関連する法律、換地関係登記事務として差押え等の処分の制限の登記、換地清算金に関する税制特例の概要について研修しました。

今後も換地事務担当者の方々に関心を持って頂けるような研修内容にしていきたいと考えています。ご意見・ご要望等ありましたら本会までお寄せください。

■ 第１５回「しまねの農村景観フォトコンテスト」審査実施

２月１７日本会会議室において、第１５回しまねの農村景観フォトコンテスト審査会を開催しました。
昨年４月から募集を開始し、今年の１月末で締め切りましたが、応募作品集７１４点、応募者数２２６人と過去最高の応募となりました。
審査は、川本審査委員長外６名の審査委員で行い、部門毎に作品を並べ委員の得票方式により最優秀賞始め入賞作品３４点を選定しました。
結果につきましては、入賞作品のポジ、ネガ、データが応募者から全て本会に提出された時点で公表いたしますので、今暫くお待ちください。

■ 「持続可能な水・土・里シンポジウムin雲南」を開催します

３月１５日（木）午後１時３０分から雲南市大東町「大東地域交流センター」において、「持続可能な水・土・里シンポジウムin雲南」～水を育む里地・里山の健全な管理に向けて～を開催します。
農業生産に欠くことのできない農業用水が、近年の異常気象や山林の荒廃等により、安定的に確保することがだんだん困難になりつつあります。今こそ「里山・里地」を地域住民を始め一般県民も参画して「手入れ」を行い、次世代に継承することの重要性について理解を深め、その運動の気運を高めることを目的に、県内での実態調査を踏まえたシンポジウムを開催します。詳しくは同封のチラシをご覧下さい。

■ 土地改良区会計諸帳簿の配布について

本会では、毎年３月に土地改良区会計用の「金銭出納簿」「収入整理簿」「支出整理簿」を配布しております。ご希望の土地改良区は本会までお申し込み下さい。

■ 今後の主な予定

３月	１日	中国四国土地改良事業団体連合会事務責任者会議（松江市）
	７日	島根県土地改良換地士部会（本会）
	１５日	平成２３年度里地・里山水源地域保全対策運営協議会（雲南市）
		持続可能な水・土・里シンポジウムin雲南（雲南市）
	２７日	第５４回全土連通常総会（東京都）
		平成２３年度全国土地改良功労者表彰式（東京都）

水土里ネット島根　（島根県土地改良事業団体連合会）
〒690-0876　島根県松江市黒田町 432-1　島根県土地改良会館　TEL 0852-32-4141
ホームページ http://www.shimanedoren.or.jp/　メール smndoren@shimanedoren.or.jp